

支援対象の拡充要請

県外出荷事業、県に意見書

竹富町議会

【那覇】竹富町議会(大久保一議長)は11日午後、3月定例会で可決した「おきなわ農林水産物県外出荷推進事業」に関する意見書を県に提出。期間の設定や支援対象を拡大するよう要請した。



嘉那武蔵人農林水産部に意見書を提出した大久保議長(中央)＝11日午後、那覇

同事業は前年度の難島冬件不利性解消事業に替わる取り組みで、持続可能な物流ネットワークの構築に向け、出荷団体が本土向けに出荷する農産物・水産物の輸送費の補助が目的。県は今年度、25億5800万円を計上している。

町議会の意見書は▽事業内容変更に伴う移行期間、期満期間を設ける▽多様な販売形態を支援対象に加え、農家や関係者との意見交換の場を設け柔軟な施策設計を行うよう求める内容。

同事業の補助対象は企業間取り引きに限定されている。町議会によると、かつての不利性解消事業では消費者に直接送る個配の送料も補助対象となっていたが、新事業では不可となったこと、料金設定の変更や、送料が消費者負担になるなどの課題が生じていると

瑞宝単光章・通事安貴氏

警察功労第44回危険業務従事者叙勲

内閣府は11日、第44回危険業務従事者叙勲を発表した。発令は20日。八重山からは元県警補の通事安

貴氏(53)＝竹富町小浜＝が、警察功労で瑞宝単光章を受

ける。県内の受勲者は30人。通事氏は小浜島生まれ。八

重山農林高校を卒業後、瑞宝単光章を受勲。瑞宝単光章を受勲。瑞宝単光章を受勲。

からは意見を述べ説明する旨の回答があったという。大久保議長は取材に「この事業は農家を支援する内容。販売形態がさまざまあるなかで進んでいる。個配が対象外のため、消費者に負担してもらえないかな

津波一時避難で協定

石垣市が2ホテルと調印

石垣市のホテルグランビュール石垣The First(登野城1番地)とホテルグランビュール石垣新川(新川2376-30番地)が11日、津波避難時における一時避難施設に指定されること、両ホテルの小尾代表取締役と中山義隆石垣市長が協定書に調印して

締結した。The Firstは10階建て、新川は9階建て。いずれも低い津波に対応できるように、1階入り口から水が入りにくい建物構造になっている。

今回の指定は、地域住民の要望などにより実現。一時避難施設指定の基準は5階建て以上の新耐震設計で鉄骨・鉄筋コンクリート造か鉄筋コンクリート造24時間受け入れ可能が条件。両建物は基準をクリアしている。

調印式で小尾代表は「建物には、低い津波でも避難後に防災拠点として活用できるように考えて造っている」と特徴を説明。「職員用マニュアルをつくって、皆さんの命を第一に考えて対応している」と述べた。

中山市長は、津波到達までに避難する時間的余裕がないことが想定される中で、両ホテルが「重要な役割を担う」と感謝し感謝状を贈った。今後は訓練を重ねて、市民と行政が一体になり「災害に強いまちづくりを進めていきたい」と述べた。

「津波時におけるホテルグランビュール石垣市」
「津波時におけるホテルグランビュール石垣新川」
「津波時におけるホテルグランビュール石垣新川」
令和7年4月11日



津波時における一時避難施設使用に関する協定を結ぶ小尾代表取締役(左)と中山義隆市長＝11日午後、石垣市役所庁舎

「名蔵」直売所オープン

石垣島産ラム、蒸留所に併設

石垣島産ラム(ラム)を原産地産品として販売する「名蔵」直売所が、石垣市蒸留所に併設して10日、姉妹の蒸留所

「コロナワクチン」の助成終了
高齢者の定期接種
65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルス

留所の見学会
この日は、関係者らによる見学会が行われ、蒸留所内が開放された。蒸留所長も訪れた。蒸留所長も訪れた。



留所見学会を引